SL-KH24J

国土交通省 公共建築工事標準仕様書 適合品
国土交通省 建築設備設計基準 適合品
JIS C 5381-21 対応

特　長

1. 最大負荷電流 1000mA
2. DINレール対応
3. プラグインタイプ（点検、交換容易）
4. SPD機能表示付き（別売品 SL-103使用時）
5. RoHS規制物質対応

形　式

SL−KH24J
- 最大連続使用電圧(Uc) 36.5V DC
- スリムタイプ

特性表

形　式	最大連続使用電圧 Uc[注1]	最大負荷電　流	電圧防護レベル Up		残留電圧[注2]	直列抵抗/線	インパルス耐久性[注3][注4]		伝送周波数帯域[注5]
			線　間	対 地 間			C2(8/20μs)	D1(10/350μs)	
SL-KH24J	36.5V DC	1000mA	80V	400V	60V	0.5Ω	10kA	5kA	DC～500kHz

注1) AC回路でも使用できますが、回路電圧のピーク値より大きいUcのSPDを選定してください。
注2) 8/20μs：5kA短絡回路電流印加時(C2)　10/350μs：2.5kA短絡回路電流印加時(D1)
注3) 2線合計での表記ですので、各ライン(1線)の値は表記値の1/2になります。
注4) IECカテゴリC2、D1に対応。インパルス耐久性 C2：8/20μs　10kA(正負・各5回・計10回)、D1：10/350μs　5kA(正負・各1回・計2回)
注5) 減衰 3dB、特性インピーダンス600Ω、参考値

用　途

- 大電流信号用
- 接点信号用

標準付属品

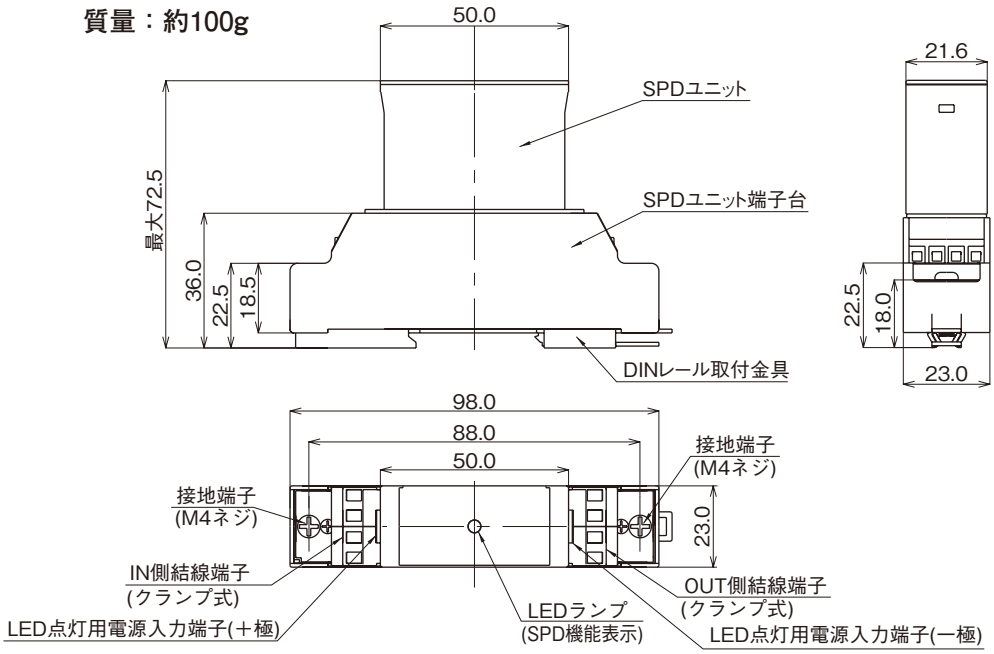
電源接続端子

別売品

SL-103：LED点灯用電源

外形寸法図

質量：約100g



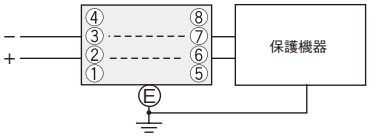
取り扱い

1. 接続例

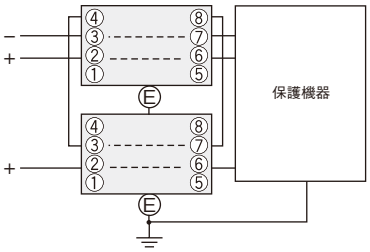
屋外などからの配線された線をIN側、保護する機器からの線をOUT側に接続します。

本機を示す。

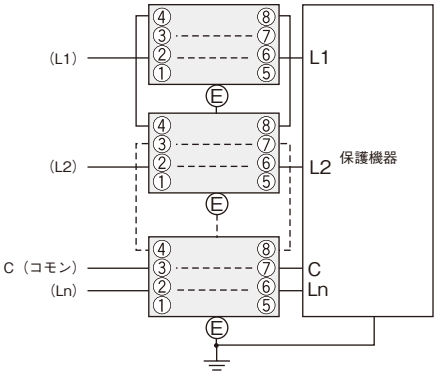
●2線接続の場合



●3線接続の場合
（SPDは2台使用）



●コモン線と信号ライン接続の場合
（SPDは信号ラインの本数分使用）



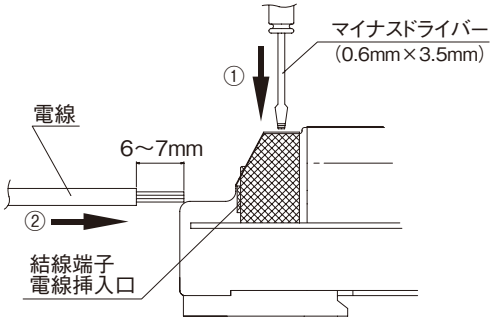
2. 結線方法

結線が可能な電線サイズは、単線φ0.3〜1.8mm、より線0.3〜2mm²です。

(1) 図に示すように電線の被覆を6〜7mm剥き、導線部分を出します。

(2) 結線端子の上部のドライバー挿入口にマイナスドライバーを置き①の矢印方向に垂直に押し込みます。

(3) 電線挿入口に電線を②の方向に挿入し導電部分が見えなくなってからマイナスドライバーを外します。



結線方法

3. 接地について、4. SPD機能表示について、5. 保守については、79頁をご参照ください。

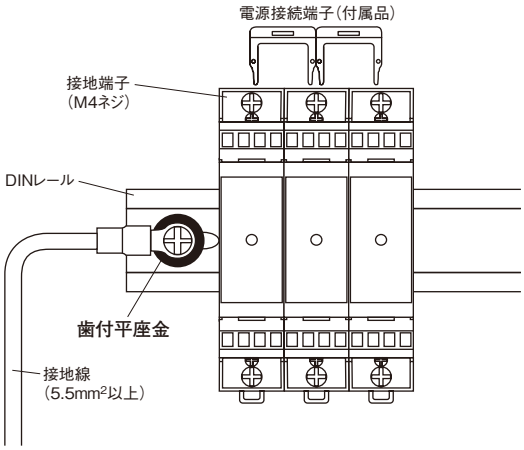
共通取扱説明

3. 接地について

(1) SPDのDINレール取付金具が接地端子を兼ねています。
DINレールを接地として使用する場合は、 下図のようにDINレールに5.5mm²以上のIV線を用いて接地してください。
DINレールに接地線を接続するときは、接触を確実に行うために**歯付平座金**を使用してください。

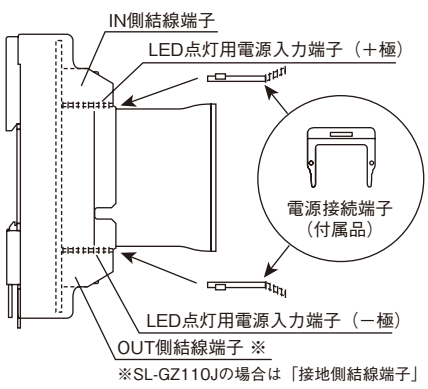
(2) 直接盤に取り付ける場合やDINレールを接地としていない場合は、付属の電源接続端子、又は2mm²IV 線（圧着端子 2-4S タイプ使用）で接地します。
その内のひとつの接地端子から5.5mm²IV線（圧着端子5.5-4Sタイプ使用）で接地してください。接地端子M4ネジの最大締め付けトルクは 2.0N・m です。

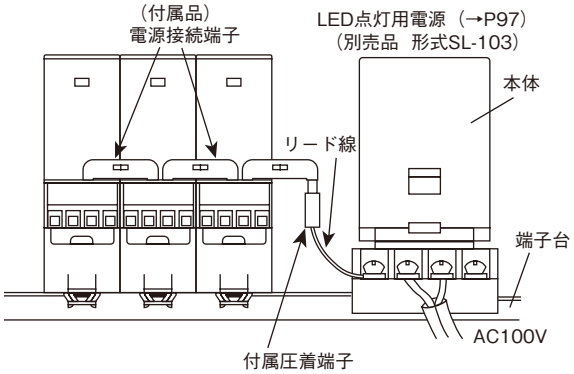
(3) SPDの接地線と機器の接地線は、必ず連接し1点で接地してください。



4. SPD機能表示について

SPD機能表示（LEDランプが消灯し、交換時期を知らせる）により、点検が容易にできます。
この機能を動作させるためには、外部電源DC3～5Vが必要です。
(別売品　LED点灯用電源　形式：SL-103)





LED点灯用電源接続方法

5. 保守

(1) 日常点検時に、本製品のSPD機能表示のLEDランプが点灯することを確認してください。
LED点灯用電源端子に外部電源が接続されていない場合、点灯しません。乾電池でDC3V～4.5Vを供給して、点灯の有無を確認してください。
常時、LEDランプを点灯させる場合は、必ず専用のLED点灯用電源(別売品　形式SL-103)をご使用ください。

(2) SPD機能が無くなれば､LEDランプが消灯します。速やかに新品のSPDユニットと交換してください。